**支援シート**

**（魚沼市における身寄りのない人への支援に関するガイドライン）**

「身寄りなし問題」の本質は、これまでの日本の医療・介護・福祉が家族による支援を前提としてきたことと、本人の希望や“本人ならこう言うだろう”といった推定意思を伝える仕組み（これも家族の機能）がないことです。

そうした、これまで家族に求められてきた機能・役割を、本人を支えるチームで代替えすることにより、身寄りがないことにより起こる問題の解決を目指すシートです。

※本人の意向を確認する際は、以下の点に留意して意思決定支援を行ってください。

❖重度の認知症や知的障害があっても、本人には意思があり、意思決定能力を有することを前提として関わります。

❖本人が判断するために必要な情報を、本人が理解できる分かりやすい言葉や文字、図や絵などで説明してください。その際、支援者側の価値判断を挟まず、本人にとっての利益・不利益を一緒に考えていく姿勢が大切です。

❖本人が安心して意思を表明できるよう、支援者の態度や人的・物的環境の整備に配慮してください。

❖支援を尽くしても本人の意思を確認できない場合は、家族等（法的な意味での親族関係のみでなく、本人が信頼を寄せ、本人の利益を考え支える人をいいます）から本人の意思を推定できる情報を収集し、それを基本として本人にとっての最善の方策を検討します。ただし、これは代理代行決定で、意思決定支援とは区別して理解すべきです。

目的に応じて以下のシートをご使用ください。

**（様式１）役割分担シート**

福祉サービスの利用や入院・入所の際に、本来なら家族等に依頼する役割を、本人を支える支援チームで分担することで、身元保証人等がいなくてもスムーズにサービスを利用できるようにするものです。

本人の意思に基づく支援であることが重要ですので、会議は原則本人参加で行います。

聞き取った内容をまとめ、本人と支援チームに配布し共有します。

**（様式２-1）“もしもの時”の意思確認シート①**

自身が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「人生会議（ACP：アバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。

そうした話し合いのきっかけにするためのシートです。

**（様式２-２）もしもの時”の意思確認シート②**

本人が亡くなった後の、葬儀や遺品の整理などについて、前もって本人の希望を聞き取り、もしもの時に葬儀を行う人（喪主等）に伝えるためのシートです。

※ここで確認する内容はとても繊細で慎重に取り扱う必要があります。中には落ち込んだり怒り出す方もいるでしょう。本人との信頼関係を築いた上で、聞き取るタイミングや環境にも配慮が必要です。

聞き取った内容をまとめ、確認のため本人署名の上、本人と支援チームに配布し共有します。

**（様式３）死後事務確認シート**

本人が亡くなった後の諸手続きについて、事前に支援チームで役割を決めておくためのものです。

亡くなった後のことについての本人の意思は、“もしもの時”の意思確認シート②（様式２－２）で確認する内容で足りると考えますので、本シート作成には本人の参加を想定していません。支援チームで情報を共有してください。

※これらのシートは、支援者の関わりが継続していることが前提です。中には一旦シートを作成しても、その後に支援者の関りがなくなる人もおり、そうした方から聞き取った意思や情報をどのように管理し、いざという時に伝えられるかは今後の検討課題です。